



## 平成29年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年3月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ

コード番号 3174

URL <http://www.happiness-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田 泰夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 追川 正義

(TEL) 03-3562-7521

四半期報告書提出予定日 平成29年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年8月期第2四半期の業績（平成28年9月1日～平成29年2月28日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第2四半期	10,099	10.1	408	72.7	394	79.9	224	162.7
28年8月期第2四半期	9,170	1.5	236	△5.8	219	△5.3	85	△24.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第2四半期	88.83	85.95
28年8月期第2四半期	33.80	32.94

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第2四半期	9,123	2,145	22.9
28年8月期	9,296	1,950	20.4

(参考) 自己資本 29年8月期第2四半期 2,093百万円 28年8月期 1,903百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年8月期	—	0.00	—	—	—
29年8月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年8月期の業績予想（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,837	4.7	232	53.6	197	66.9	77	—	30.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年8月期2Q	2,532,400株	28年8月期	2,532,400株
② 期末自己株式数	29年8月期2Q	－株	28年8月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年8月期2Q	2,532,400株	28年8月期2Q	2,532,400株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善等により回復基調で推移したものの、個人消費は、海外情勢の不安定化も加わり、軟調に推移しました。また、労働需給の変化に伴う人材採用難の長期化が大きな経営課題となっております。

このような状況下、当社は、厳選した新規出店と既存店対策の強化、企業イメージの向上と自社商品ブランドの確立、EC（ネット通販）事業の拡大を当事業年度の重点課題として取り組んでまいりました。また、人事面においては、店舗スタッフの待遇改善策を実施しモチベーションアップを図るとともに、人事制度全般にわたる見直しに着手いたしました。

販売活動の施策といたしましては、宝飾催事・アウトレットセール等の販促活動に加えて、4店舗の新規出店にあわせたオープン協賛セールや改装・移転店舗の一時閉店セール等の販促活動を実施し、新規顧客の開拓と固定客づくりに努めてまいりました。

ECにつきましては、広告宣伝及びメールマガジンの配信を継続するとともに、買い上げ率向上の施策としてWebサイトの改善及び宝飾・時計部門の強化に努めました。

商品施策といたしましては、平台什器を活用したオープン陳列の売り場展開を拡大させ、値ごろ感のある価格帯の商品拡充に努めることで客数向上を図るとともに、高額ブランド品の予約販売会の実施、お買い得品のセット販売や好調なブランドの売り場展開の強化等を図ってまいりました。

また、Happy Candle（ハッピーキャンドル）商品については、シーズンの新作商品を投入するとともに、客層に合った女性ファッション誌への掲載や SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等を通じたブランド認知を高める取り組みを強化し、自社商品ブランドの確立に努めてまいりました。

商品部門別の売上状況につきましては、宝飾品は催事等による販売強化に加え、人気商品の展開を強化したことで売上高1,729,256千円（前第2四半期累計期間比9.1%増）、時計は予約販売会による主力ブランド品の販売を強化したことで売上高2,843,118千円（同20.9%増）、バッグ・小物は手ごろな価格帯の商品及びブランドを絞った展開を強化したことで売上高5,527,195千円（同5.5%増）となりました。

店舗展開といたしましては、富士宮店（静岡県）、土浦店（茨城県）、広島府中店（広島県）、長久手店（愛知県）の計4店舗を新規出店いたしました。いずれも大型商業施設イオンモールへの出店であります。一方、不振店対策として上尾店（埼玉県）、与野店（埼玉県）の閉店を実施いたしました。これらにより、当第2四半期末の店舗数は68店舗となりました。

店舗改装につきましては、八幡東店、大和郡山店、おのだ店について通常改装を実施、浜松店、泉南店については適正面積への変更と区画移転を伴う改装を実施、パルナ店、銀座店、札幌店等については小規模改装を実施いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高10,099,571千円（前第2四半期累計期間比10.1%増）、営業利益408,336千円（同72.7%増）、経常利益394,451千円（同79.9%増）、四半期純利益224,954千円（同162.7%増）となりました。

なお、当社の業績は、クリスマス時期を中心とした年末年始商戦のウエイトが高くなっているため、四半期決算としては第2四半期の占める比重が高くなっております。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,500,184千円となり、前事業年度末と比較して170,422千円減少しております。これは主として、商品が583,406千円増加したものの、現金及び預金が602,674千円、売掛金が107,605千円減少したことが要因であります。

（固定資産）

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,623,192千円となり、前事業年度末と比較して2,906千円減少しております。これは主として、建物が17,805千円、工具、器具及び備品が32,695千円、敷金及び保証金が10,109千円増加したものの、投資その他の資産のその他が59,655千円減少したことが要因であります。

（流動負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、3,713,147千円となり、前事業年度末と比較して154,911千円増加しております。これは主として、支払手形及び買掛金が39,234千円、1年内返済予定の長期借入金が72,124千円減少したものの、電子記録債務が98,843千円、未払法人税等が125,680千円増加したことが要因であります。

（固定負債）

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、3,264,729千円となり、前事業年度末と比較して522,857千円減少しております。これは主として、返済により長期借入金が506,176千円減少したことが要因であります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、2,145,499千円となり、前事業年度末と比較して194,616千円増加しております。これは主として、四半期純利益の計上により利益剰余金が186,968千円増加したことが要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ602,676千円減少し、1,950,847千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は123,302千円（前年同四半期は110,950千円の収入）となりました。これは、主として新規出店等に伴うたな卸資産の増加582,123千円、法人税等の支払額19,369千円、利息の支払額16,092千円、未払消費税等の減少15,502千円があった一方で、税引前四半期純利益371,092千円、減価償却費104,950千円、売上債権の減少101,613千円、仕入債務の増加59,609千円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、増加した資金は19,783千円（前年同四半期は69,311千円の支出）となりました。これは、主として定期預金の預入による支出56,005千円、新規出店及び改装等に伴う有形固定資産の取得40,399千円、敷金及び保証金の差入17,264千円の支出があった一方で、定期預金の払戻による収入50,000千円、投資有価証券の償還による収入50,000千円、子会社の清算による収入35,825千円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は745,762千円（前年同四半期は236,029千円の支出）となりました。これは、長期借入れによる収入480,000千円があった一方で、長期借入金の返済1,058,300千円、長期未払金の返済116,800千円、配当金の支払37,960千円、社債の償還10,000千円、リース債務の返済2,701千円があったことによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月14日に公表いたしました平成29年8月期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,756,521	2,153,846
売掛金	852,087	744,481
商品	3,801,514	4,384,921
貯蔵品	112,185	110,902
その他	148,297	106,032
流動資産合計	7,670,607	7,500,184
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	600,694	618,500
構築物(純額)	22	19
工具、器具及び備品(純額)	247,896	280,591
リース資産(純額)	12,250	9,514
建設仮勘定	-	1,360
有形固定資産合計	860,863	909,986
無形固定資産		
ソフトウェア	23,658	21,336
リース資産	460	-
無形固定資産合計	24,118	21,336
投資その他の資産		
敷金及び保証金	539,870	549,979
その他	202,082	142,426
貸倒引当金	△836	△536
投資その他の資産合計	741,116	691,869
固定資産合計	1,626,098	1,623,192
資産合計	9,296,705	9,123,376

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	831,668	792,433
電子記録債務	349,946	448,790
1年内返済予定の長期借入金	1,825,346	1,753,222
未払法人税等	27,181	152,861
賞与引当金	49,520	68,000
ポイント引当金	13,731	14,701
資産除去債務	6,327	2,816
その他	454,515	480,321
流動負債合計	3,558,236	3,713,147
固定負債		
長期借入金	3,127,742	2,621,566
資産除去債務	151,160	149,666
その他	508,684	493,497
固定負債合計	3,787,587	3,264,729
負債合計	7,345,823	6,977,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	325,397	325,397
資本剰余金	312,747	312,747
利益剰余金	1,273,931	1,460,899
株主資本合計	1,912,076	2,099,044
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,621	△5,652
評価・換算差額等合計	△8,621	△5,652
新株予約権	47,428	52,108
純資産合計	1,950,882	2,145,499
負債純資産合計	9,296,705	9,123,376

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
売上高	9,170,070	10,099,571
売上原価	6,932,343	7,666,759
売上総利益	2,237,727	2,432,811
販売費及び一般管理費	2,001,379	2,024,475
営業利益	236,347	408,336
営業外収益		
受取利息	897	126
受取配当金	217	299
業務受託料	659	564
受取保険金	219	-
為替差益	-	1,192
その他	1,562	1,281
営業外収益合計	3,556	3,464
営業外費用		
支払利息	19,930	16,417
その他	723	931
営業外費用合計	20,653	17,348
経常利益	219,251	394,451
特別損失		
固定資産売却損	-	1,093
固定資産廃棄損	10,608	7,670
減損損失	15,095	3,240
店舗閉鎖損失	4,716	10,500
投資有価証券償還損	-	853
投資損失引当金繰入額	13,453	-
特別損失合計	43,873	23,359
税引前四半期純利益	175,377	371,092
法人税、住民税及び事業税	87,398	132,237
法人税等調整額	2,361	13,900
法人税等合計	89,759	146,137
四半期純利益	85,617	224,954

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	175,377	371,092
減価償却費	135,904	104,950
減損損失	15,095	3,240
店舗閉鎖損失	4,716	10,500
株式報酬費用	5,356	4,680
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△300	△300
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	13,453	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,520	18,480
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	11,251	970
受取利息及び受取配当金	△1,115	△425
支払利息	19,930	16,417
為替差損益 (△は益)	-	△1,192
固定資産廃棄損	10,608	7,670
売上債権の増減額 (△は増加)	104,737	101,613
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△636,158	△582,123
仕入債務の増減額 (△は減少)	245,487	59,609
未払金の増減額 (△は減少)	42,311	24,062
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,331	△15,502
その他	△9,878	33,166
小計	118,926	156,907
利息及び配当金の受取額	1,101	686
利息の支払額	△19,845	△16,092
法人税等の還付額	20,021	1,170
法人税等の支払額	△9,253	△19,369
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,950	123,302
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,006	△56,005
定期預金の払戻による収入	-	50,000
有形固定資産の取得による支出	△36,628	△40,399
無形固定資産の取得による支出	△12,330	△1,526
投資有価証券の取得による支出	△1,982	△2,053
投資有価証券の償還による収入	-	50,000
敷金及び保証金の差入による支出	△22,266	△17,264
敷金及び保証金の回収による収入	11,950	605
子会社の清算による収入	-	35,825
その他	△2,047	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,311	19,783
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	800,000	480,000
長期借入金の返済による支出	△892,654	△1,058,300
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
長期未払金の返済による支出	△87,110	△116,800
リース債務の返済による支出	△8,331	△2,701
配当金の支払額	△37,933	△37,960
財務活動によるキャッシュ・フロー	△236,029	△745,762
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△194,390	△602,676
現金及び現金同等物の期首残高	2,453,940	2,553,524
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,259,549	1,950,847

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。